

平成 28 年度 国立中央青少年交流の家

# 富士のさと わくわくキャンプ ①家族編

平成 28 年 9 月 10 日 (土) ~9 月 11 日 (日) 1泊2日

## ○目的

キャンプでの共同生活体験、協働作業を通して、子供たちの自主性・協調性・基本的な生活習慣などの心身の発達を図る。

## ○本事業の仕組み

当所で養成したボランティアを中心に家族対象のプログラムを企画立案し、当日の運営をする。



【運営に関わったスタッフ】

## ○キャンプの企画立案

立候補のあった 11 名のボランティアと実習生 9 名が企画メンバーとなり、企画立案を進めた。

各自に担当を割り振り、お互いにメール等で情報共有しながら、以下のことを行った。

- ・プログラムの選定、構成
- ・プログラムデザインシート、グループデザインシートの作成

※手順や目指すグループ像、安全管理などを記載

- ・全体進行表の作成
- ・実地踏査の実施 等



【企画メンバーでの話し合い】

## ○キャンプ当日の運営

当日の運営は、総勢 20 名（ボランティア 11 名、社会教育実習生等 9 名）が担った。スタッフは前日から宿泊し準備や試作、最終的な打ち合わせをして参加者を出迎えた。今回の参加者は小学 1~6 年生とその家族 56 名であった。

### 1日目 (9月10日 (土))



《はじめの会》  
「はじめまして！」



《アイスブレイク①》  
ジャンケンゲーム



《アイスブレイク②》  
人間知恵の輪



《ポイントラリー》  
家族でサインの交換！



《棒パンづくり》  
棒に生地をまいて焼きます



《楽しい食事タイム》  
「いただきまーす！」

2日目 [9月11日 (日)]



《ホットドッグづくり》  
牛乳パックで調理！



《思い出BOXづくり》  
粘土細工で思い出づくり



《おわりの会》  
感想発表「楽しかった〜」

《参加者の声》

- ・スタッフがとても親切で子供たちもとても楽しく過ごせました。(保護者)
- ・説明が詳しく、絵やコントで表してくれたので子供にもわかりやすかったと思います。(保護者)
- ・いろいろな知らない遊びややり方を知れたので今度またやりたいです。(子供)
- ・ボランティアの人がとても親切に遊んでくれて良かった。(子供)



○キャンプを終えて

《企画メンバーの感想》

- ・普段話さないような人達と触れ合うことがとても楽しく行えた。
- ・家族どうしの会話が多く見られて良かった。
- ・時間や状況を考えて臨機応変に行動できていた。
- ・プログラムを成功させるために他のプログラム担当の人とも協力できていた。

《成果と課題》

ボランティアが意欲的に考え、活動をしてくれたこと、プログラム以外の時間でも積極的に参加者の子供たちに関わってくれたことで参加者にとってもボランティアにとっても、楽しく有意義な時間を過ごすことができていた。ただ、1泊2日の限られた時間の中で参加者の様々な要望に応えるプログラムを計画すること、ボランティアみんなが顔を合わせて計画、準備をする時間が限られていることなど準備を進めていく上での課題があることも確かであり、今後の課題としてさらに検討を重ねていきたい。